

～西鶴の句

井原西鶴いはらさいかくは前回にとりあげた西山宗因の門に入って学んだ人。  
ご存知の通り「好色一代男」「好色一代女」などの作品で知られる小説家。

### 秋来ても色にはいはず芋の蔓

「色に出づ」は恋ごころが表に現れてしまうことをいうが、秋が来ても芋の蔓に  
色が出ないと言ったところに俳諧味がある。

### 剃さげ頭世の風俗やけふの月

当時、衣装にも髪型にも流行があったのだろう。  
見慣れない新しさをうたった。

### 大ぶりや修行者うづむ炭がしら

大ぶりの炭がしらなんとも可らしい。  
埋めているのが修行者でとりあわせが妙。